2025年度　学修行動調査

学科別集計結果・分析まとめ

2026年9月17日

びわこリハビリテーション専門職大学　教学ＩＲ室

調査の概要

	実施期間	回答者数／対象者数	回答率
1年生	2025年12月1日～12日	70/78	89.7%
2年生	2025年12月1日～12日	79/87	90.8%
3年生	2025年12月1日～12日	67/87	77.0%
4年生	2025年12月1日～12日	72/88	81.8%
全体	－	288/340	84.7%

全体回答率
69.0% → 84.7%
に向上

◇調査実施期間及び回答率
　上表のとおり、2025年12月1日～12日に実施。全体回答率は84.7%。

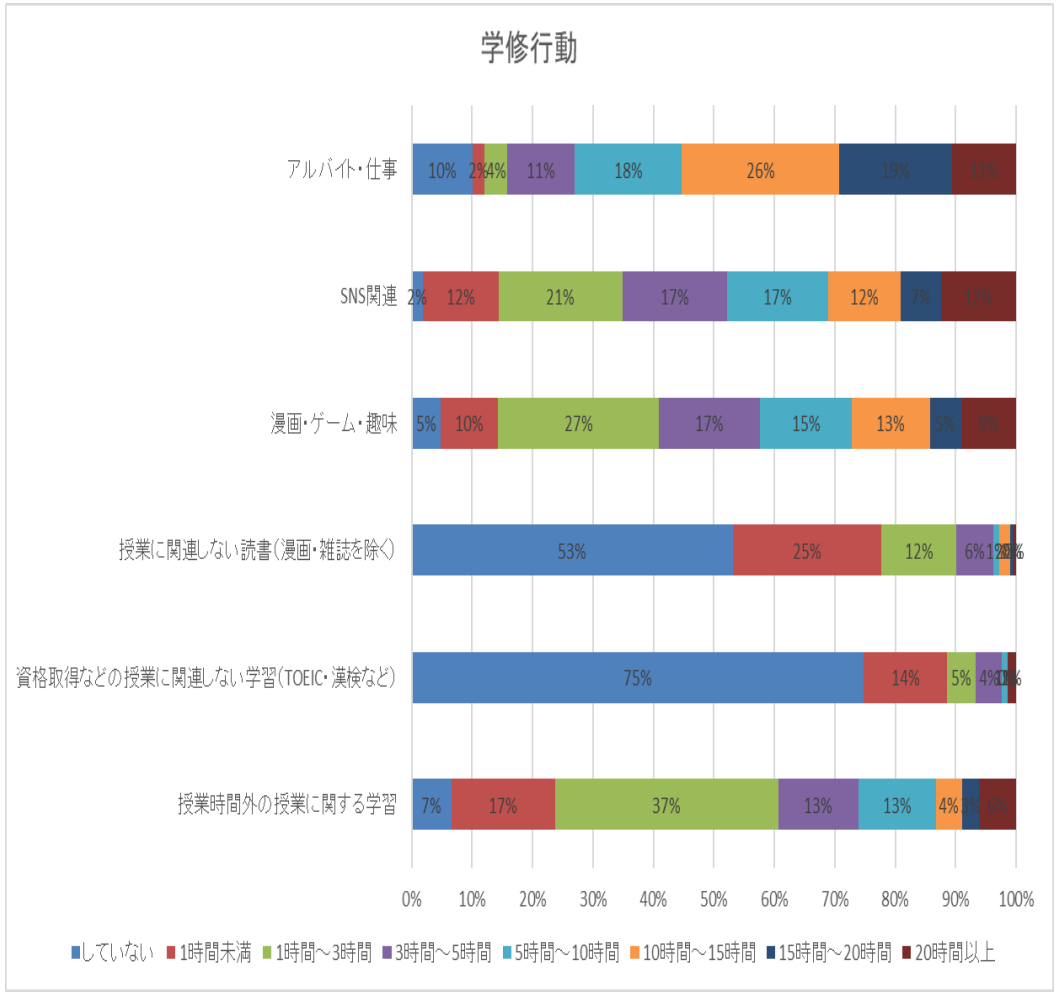
◇調査実施方法
　ポータルサイト（CampusPlan）上のWebアンケート

◇各設問の学科別集計まとめ及び分析
　次ページ以降に掲載
　※ 設問4－1：2024年度までの調査項目を今回から除外。
　※ 設問5：今回の調査から1年生も回答対象に追加。

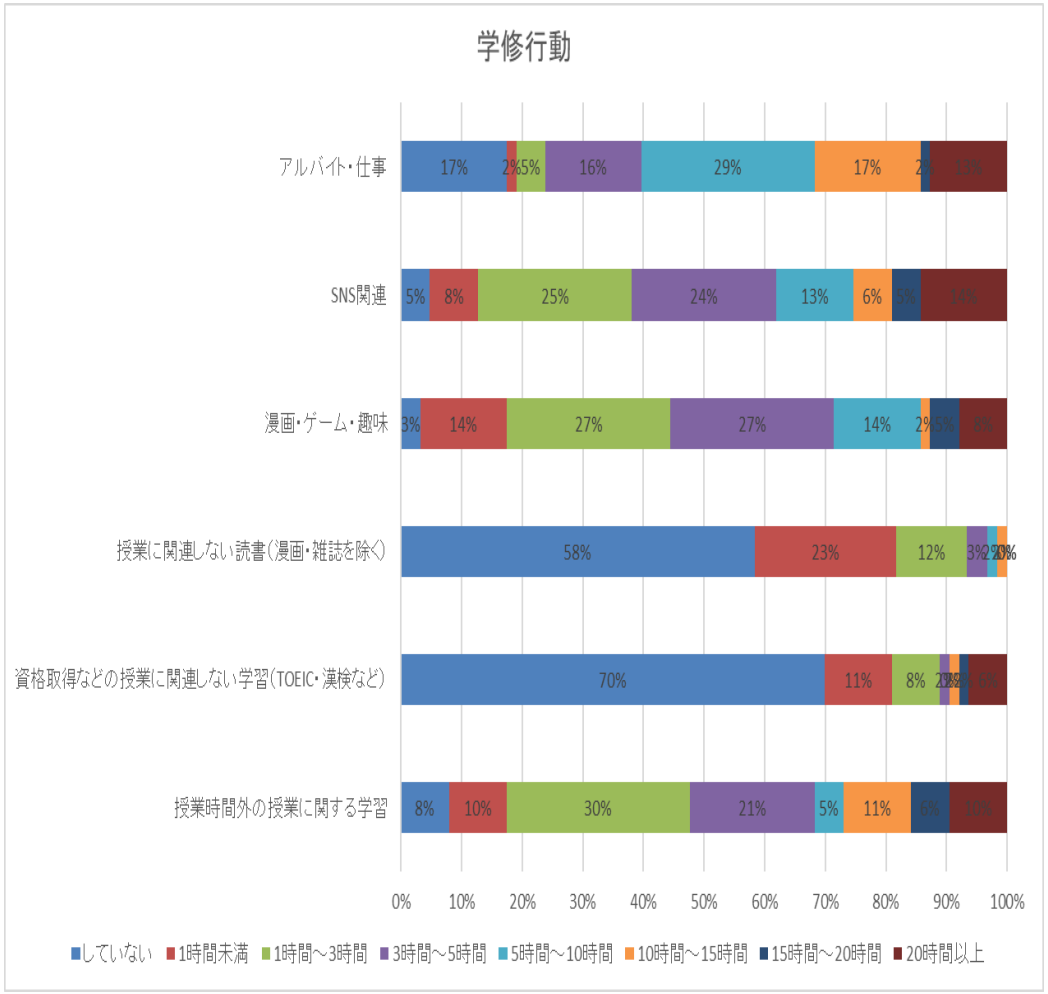
設問1-1　学修行動

あなたは、授業期間中において、1週間あたり次の各項目でおおよそどのくらいの時間をかけて取り組みましたか。

＜理学療法学科＞



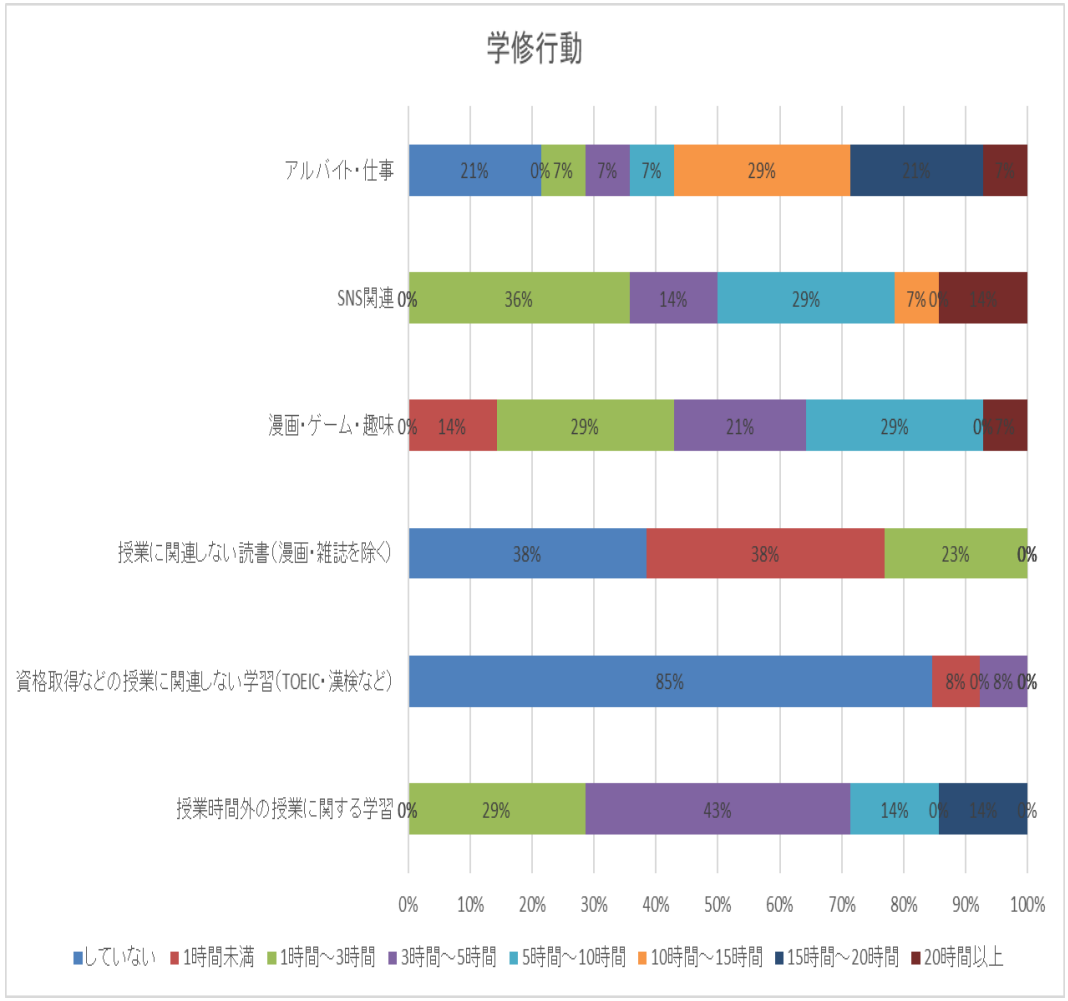
＜作業療法学科＞



設問1-1　学修行動

あなたは、授業期間中において、1週間あたり次の各項目でおおよそどのくらいの時間をかけて取り組みましたか。

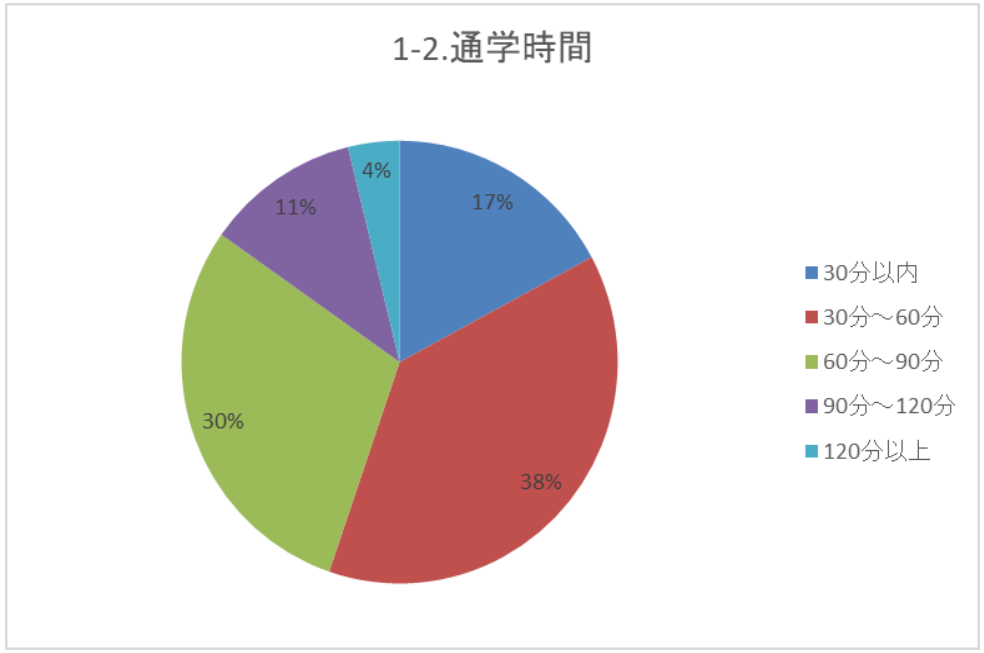
＜言語聴覚療法学科＞



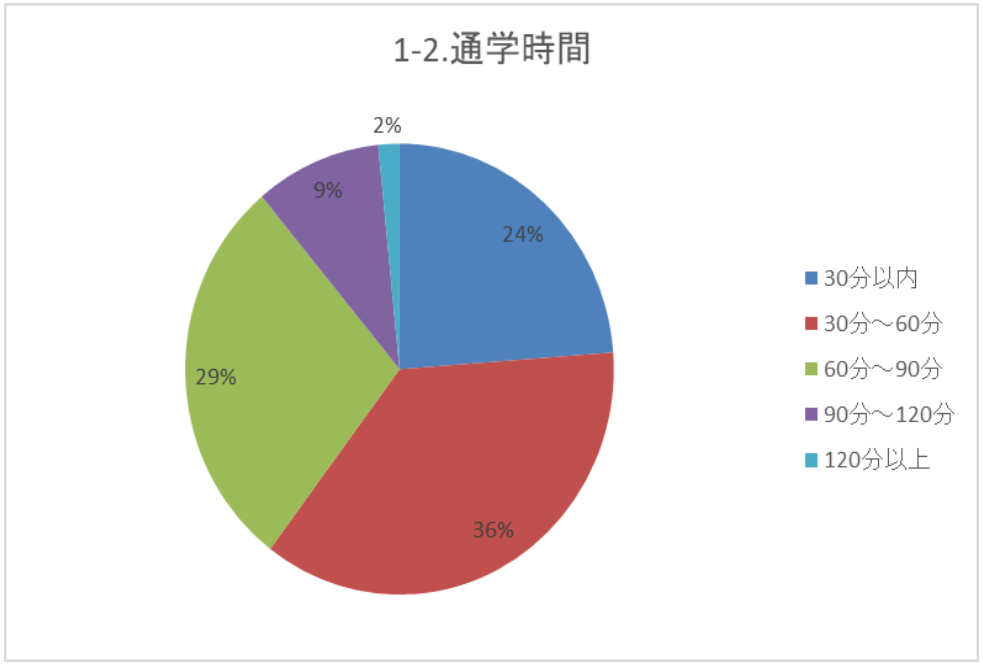
設問1-2　通学時間

家から大学まで（片道）おおよそどのくらいの時間を要しますか。

＜理学療法学科＞



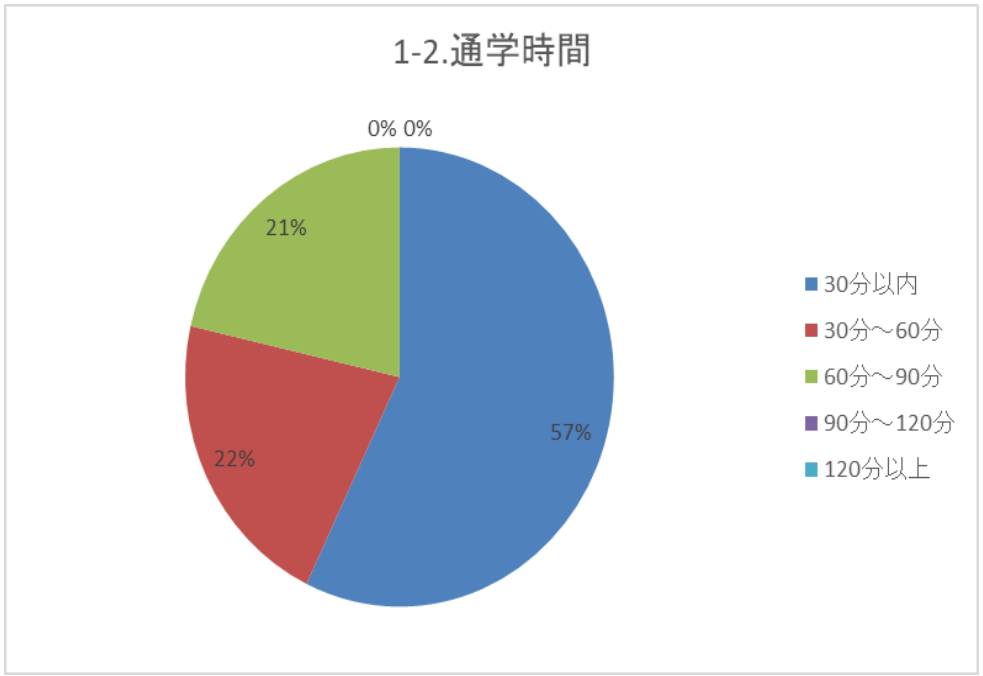
＜作業療法学科＞



設問1-2　通学時間

家から大学まで（片道）おおよそどのくらいの時間を要しますか。

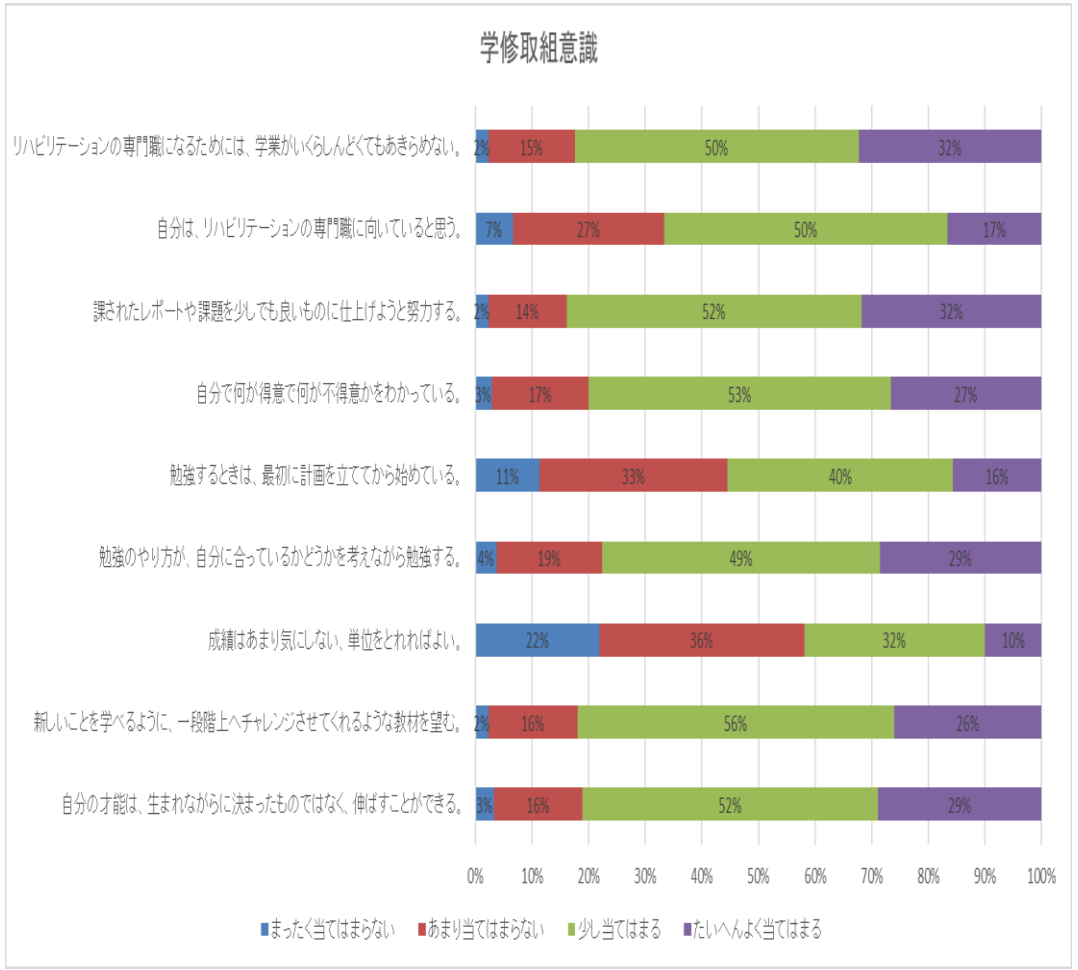
＜言語聴覚療法学科＞



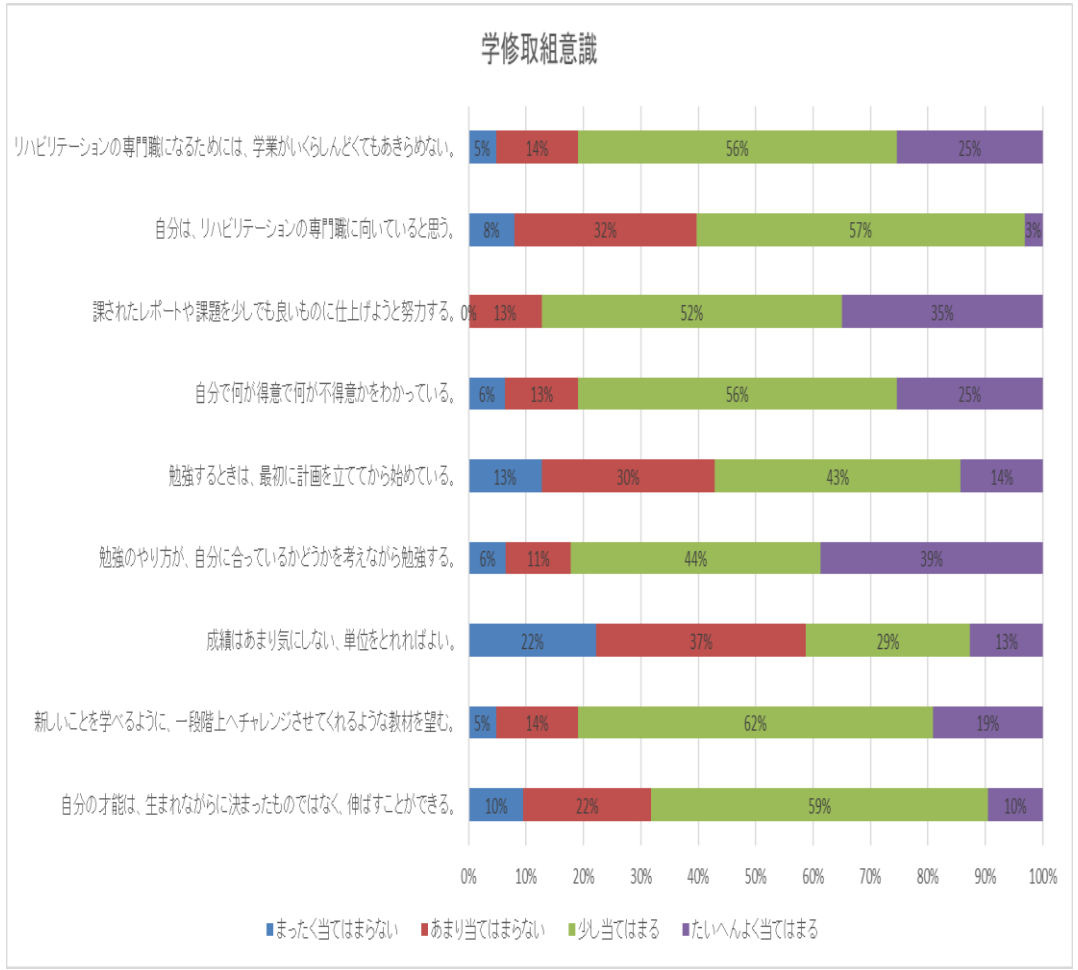
設問2　学修取組意識

大学入学以降のあなたの学習のやり方や、学習への向き合い方、学生生活に関しての質問です。場合によって異なることもあると思いますが、だいたいこの程度、という感じで、それぞれ一つ選んでください。

＜理学療法学科＞



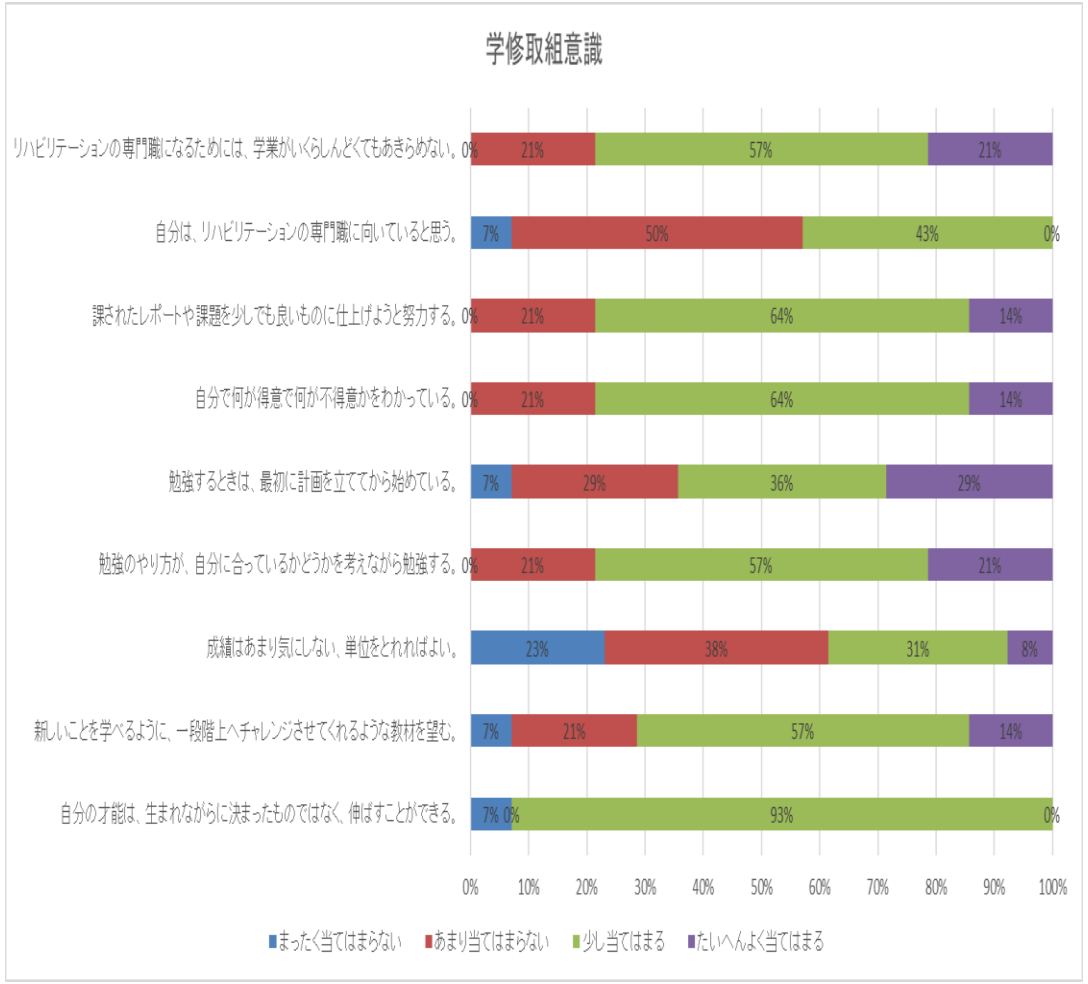
＜作業療法学科＞



設問2　学修取組意識

大学入学以降のあなたの学習のやり方や、学習への向き合い方、学生生活に関しての質問です。場合によって異なることもあると思いますが、だいたいこの程度、という感じで、それぞれ一つ選んでください。

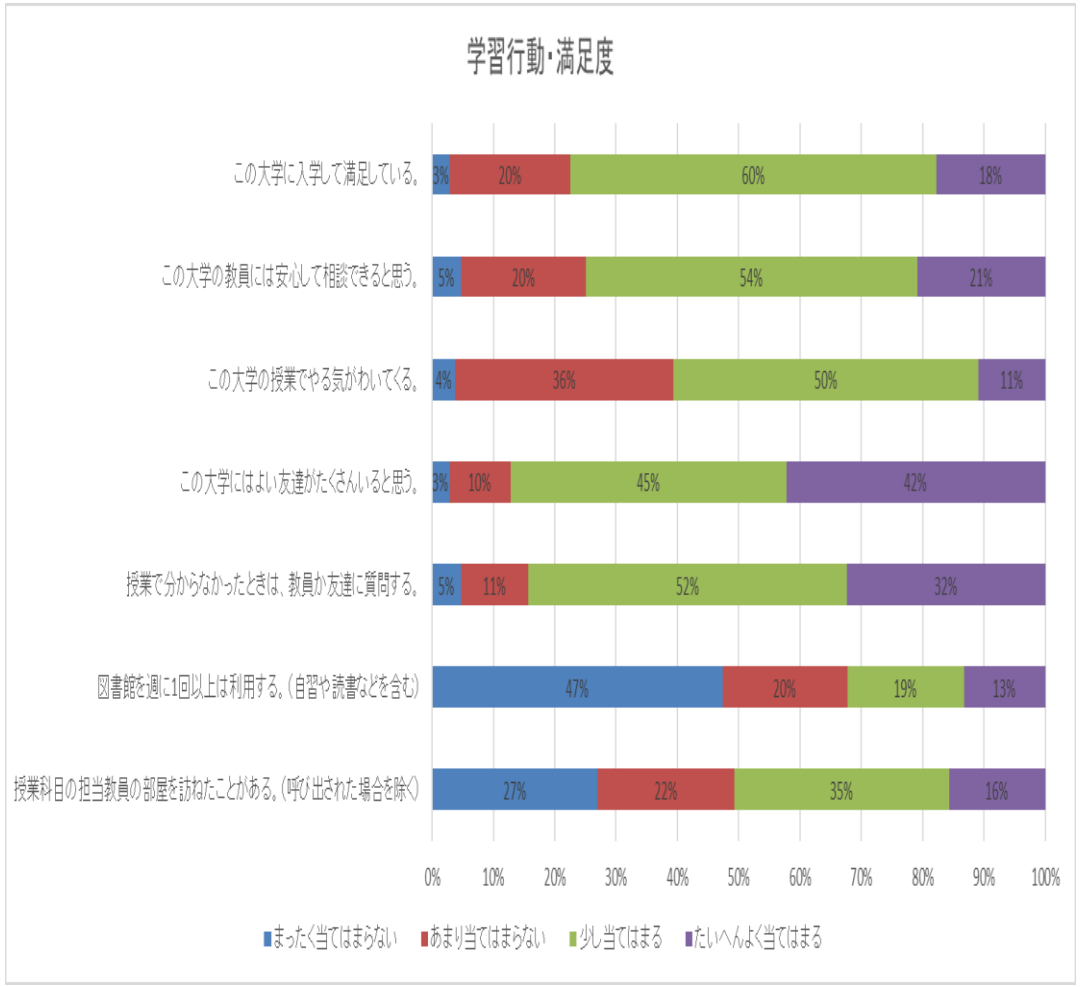
＜言語聴覚療法学科＞



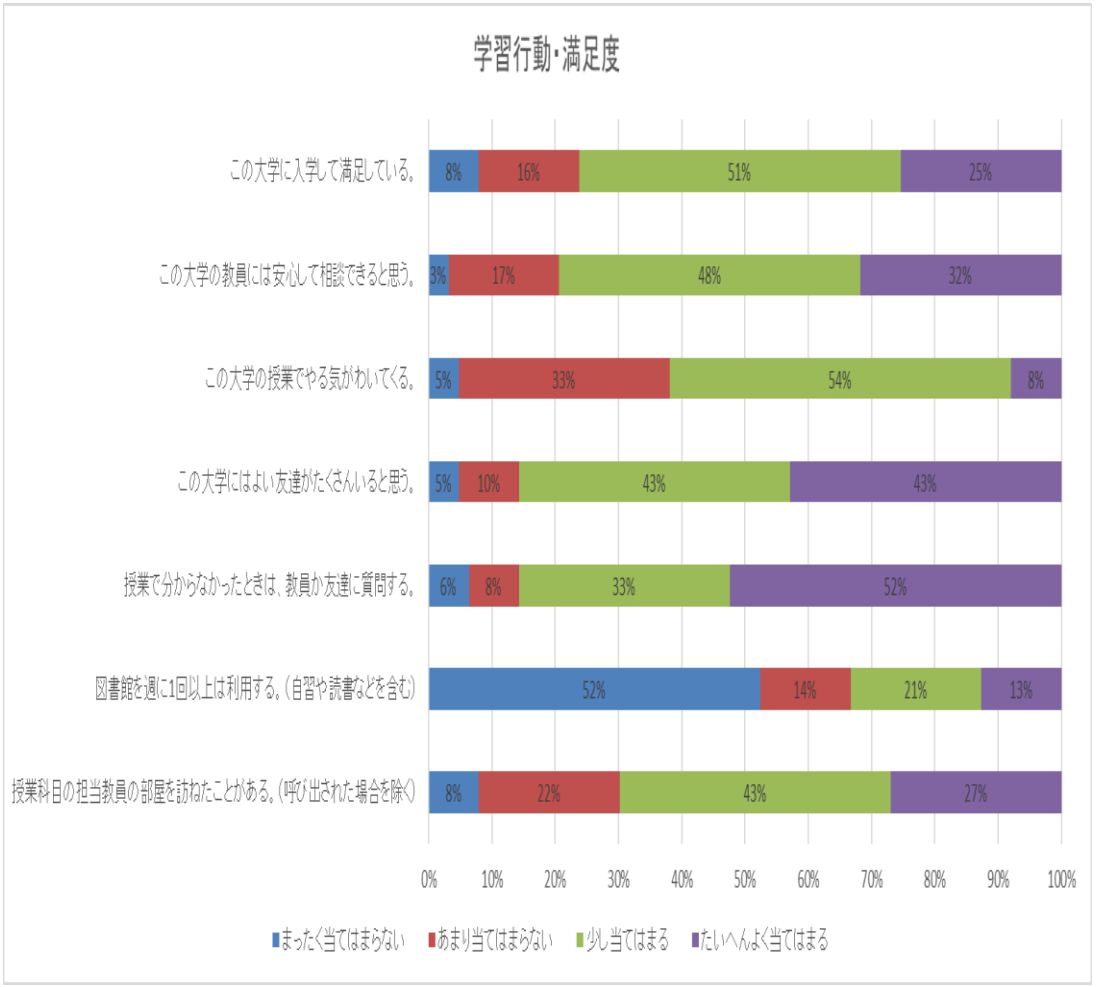
設問3　学修行動・満足度

大学入学以降のあなたの学習行動や学生生活の印象に関しての質問です。だいたいこの程度、という感じで、それぞれ一つ選んでください。

＜理学療法学科＞



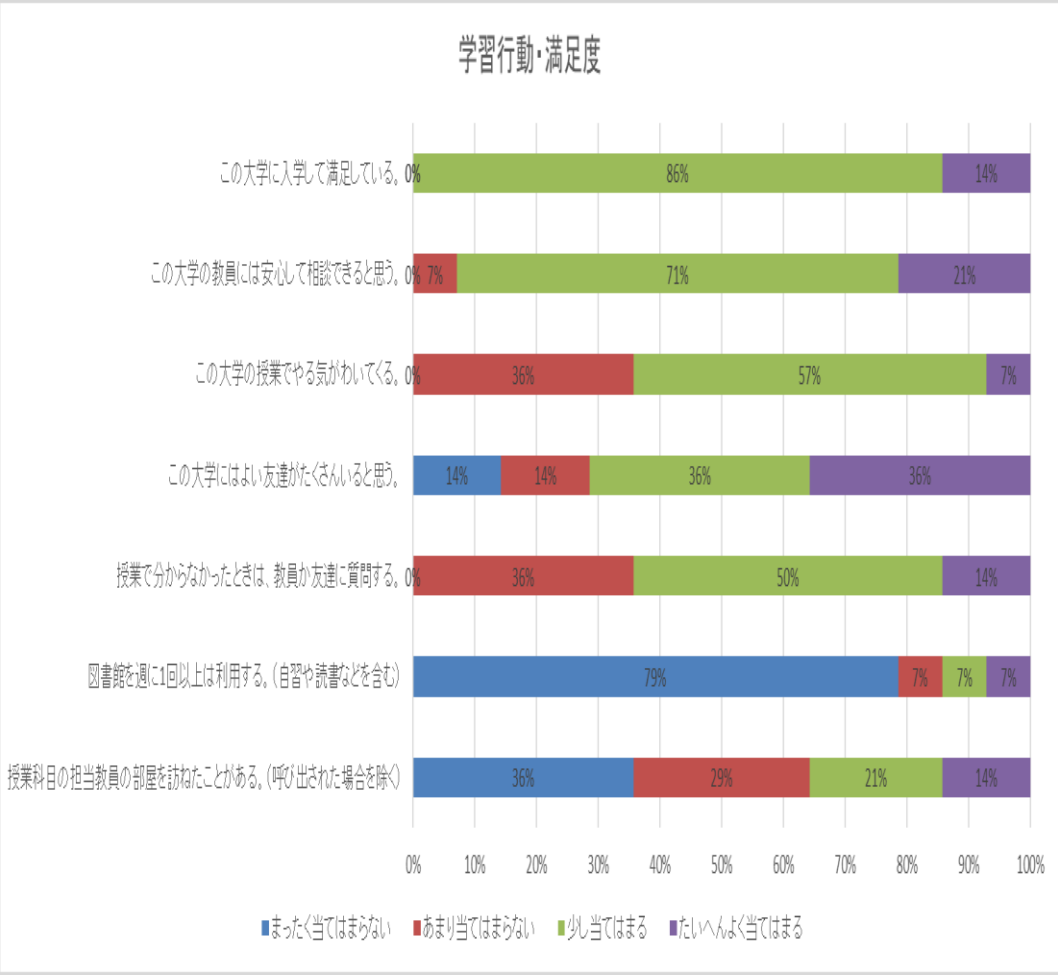
＜作業療法学科＞



設問3　学修行動・満足度

大学入学以降のあなたの学習行動や学生生活の印象に関しての質問です。だいたいこの程度、という感じで、それぞれ一つ選んでください。

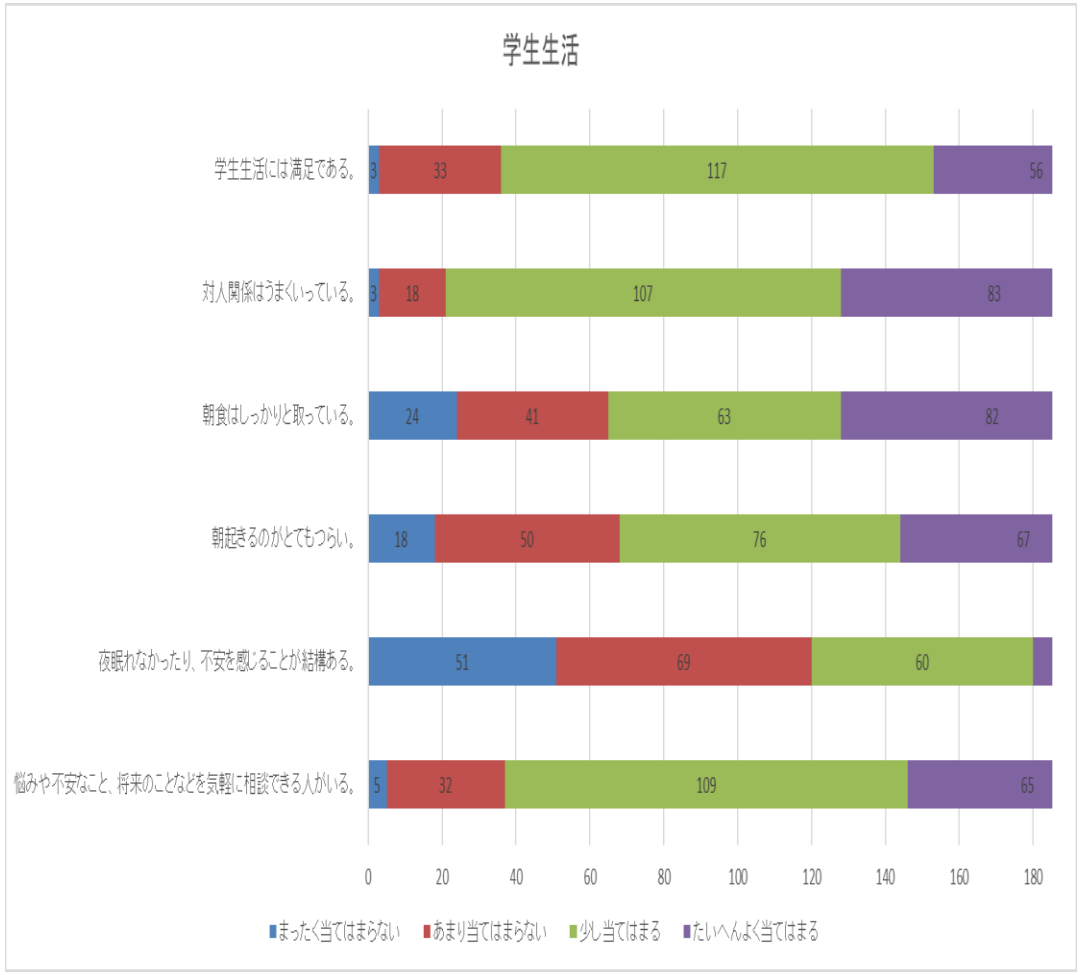
＜言語聴覚療法学科＞



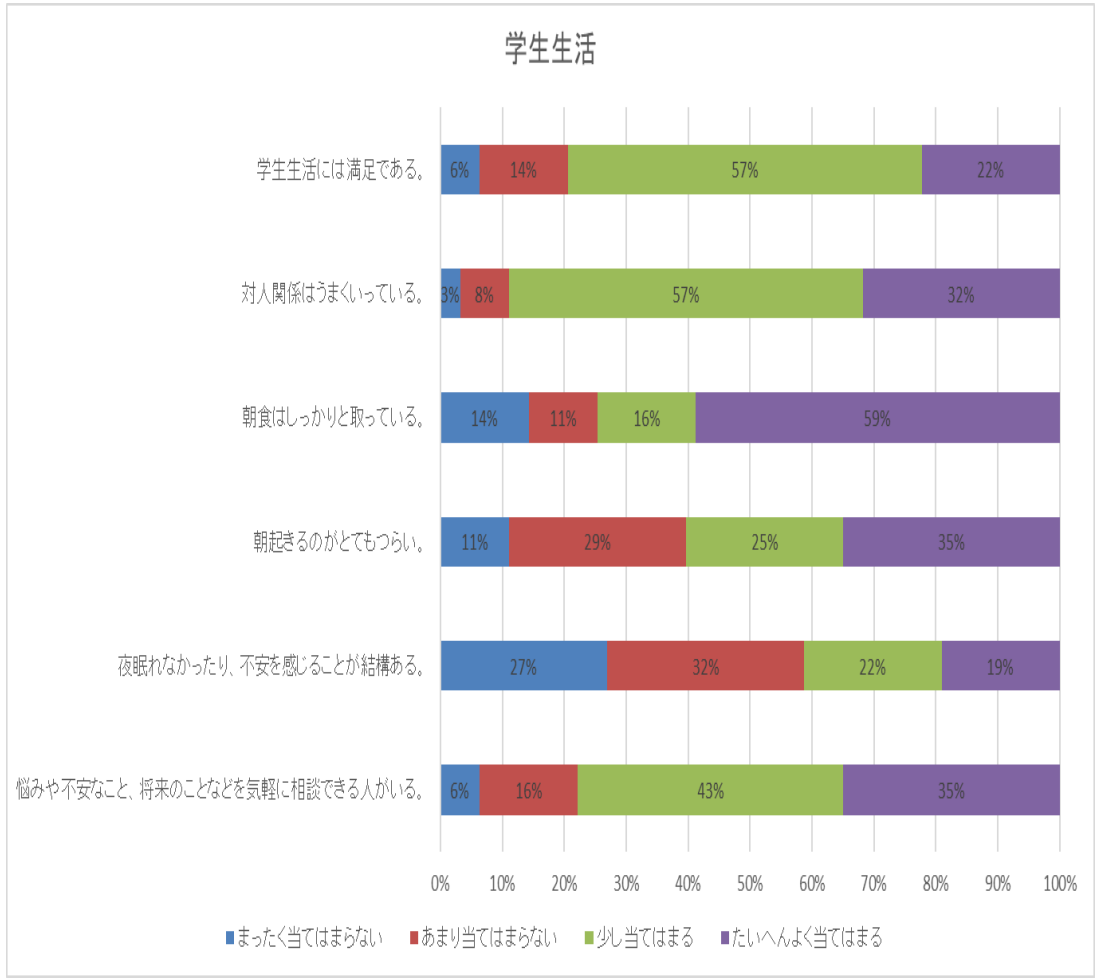
設問4-1　学生生活

大学入学以降の学生生活に関しての質問です。場合によって異なることもあると思いますが、だいたいこの程度、という感じで、それぞれ一つ選んでください。

＜理学療法学科＞



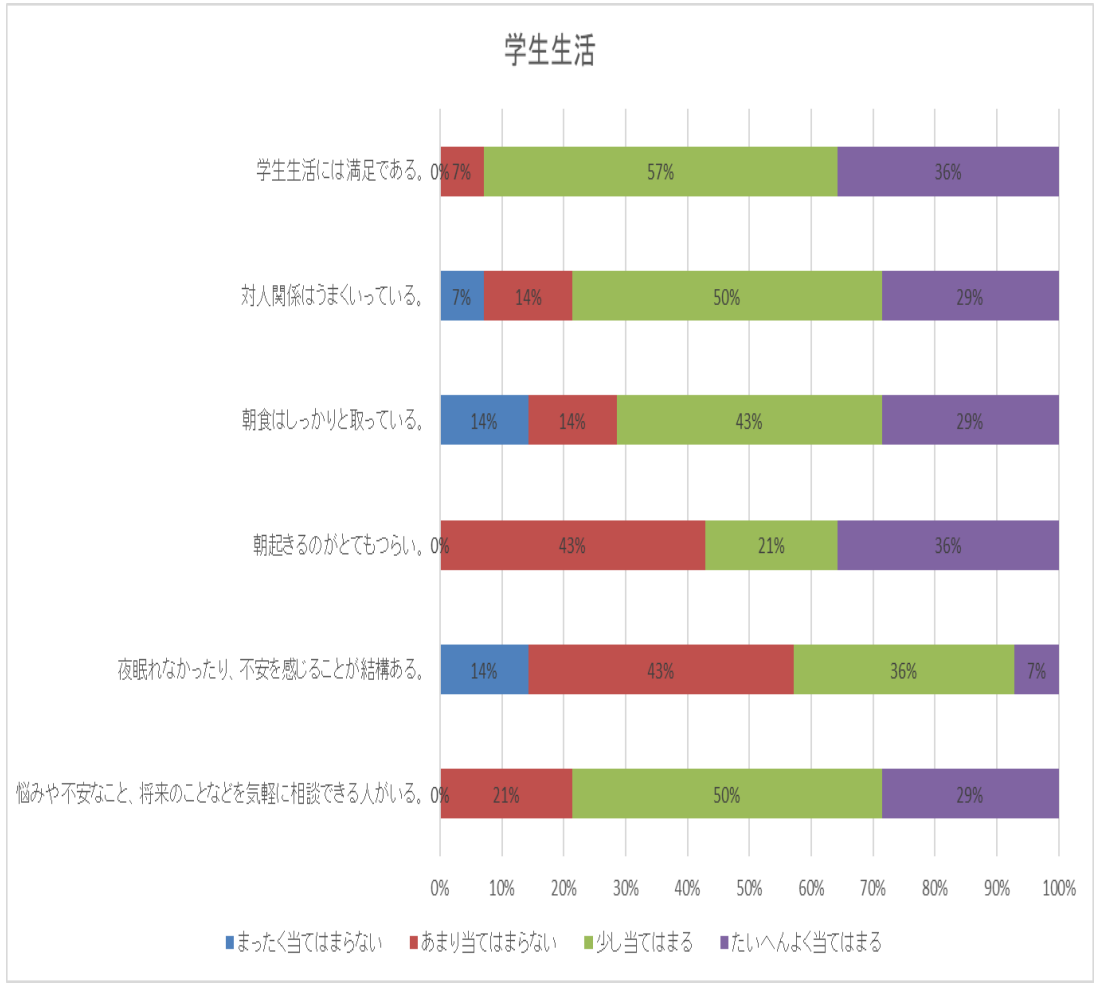
＜作業療法学科＞



設問4-1　学生生活

大学入学以降の学生生活に関しての質問です。場合によって異なることもあると思いますが、だいたいこの程度、という感じで、それぞれ一つ選んでください。

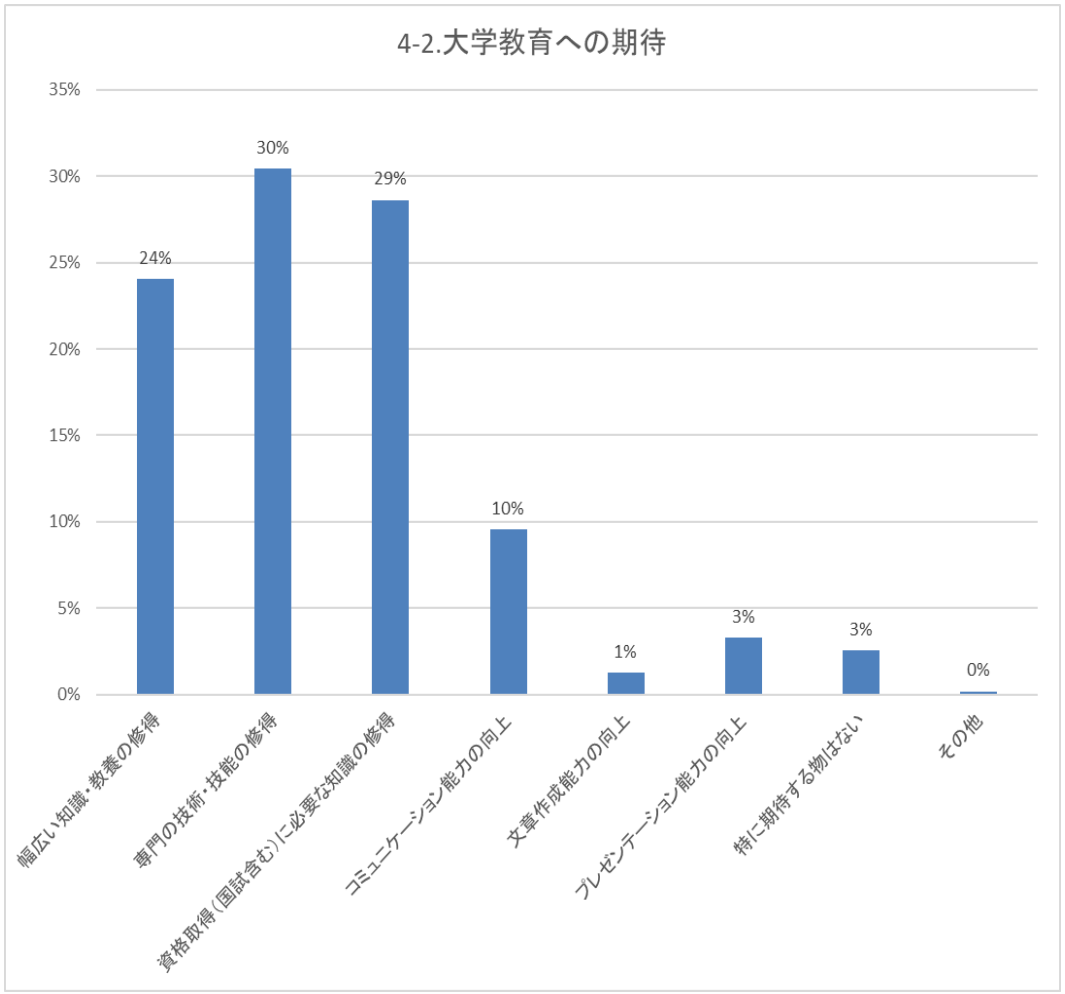
＜言語聴覚療法学科＞



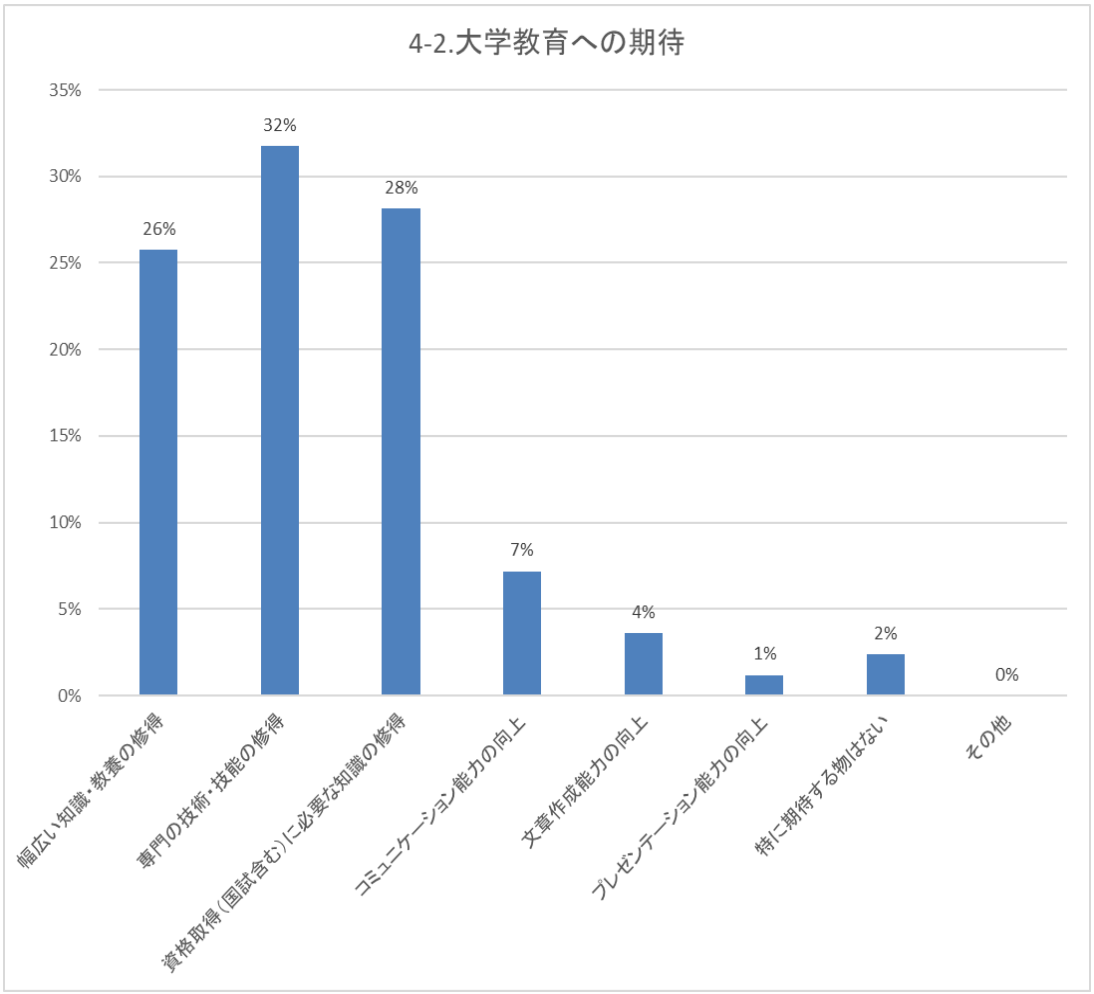
設問4-2　大学教育への期待

大学における教育に対して、どのようなことを期待していますか。【複数回答】

＜理学療法学科＞



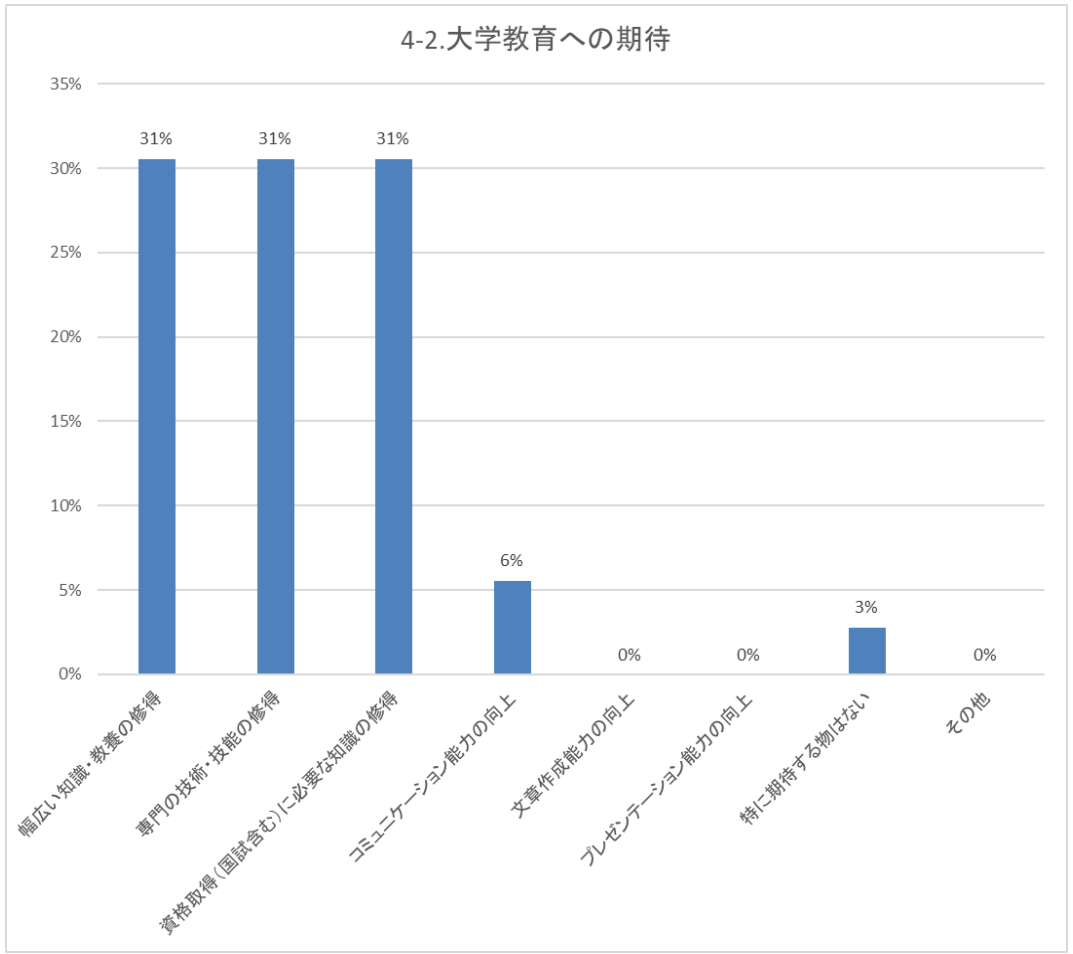
＜作業療法学科＞



設問4-2　大学教育への期待

大学における教育に対して、どのようなことを期待していますか。【複数回答】

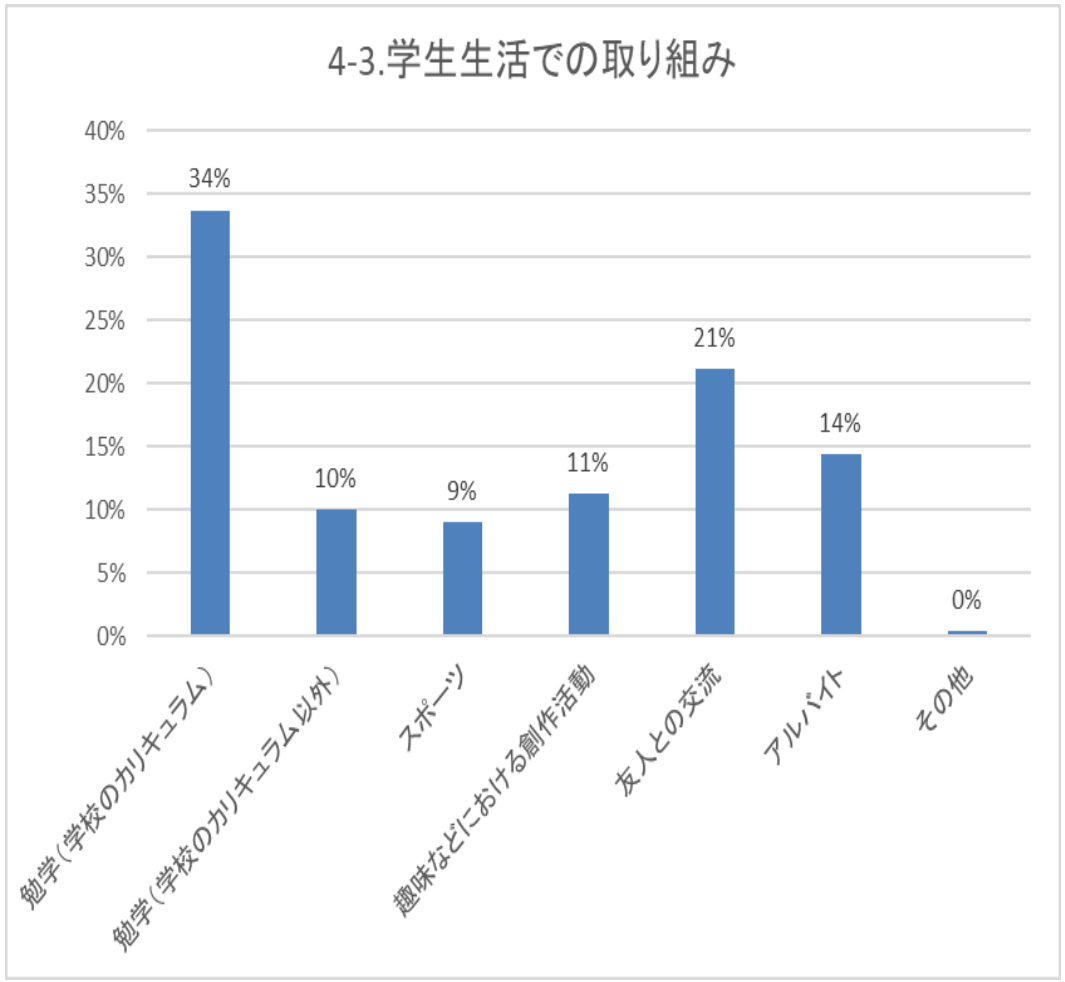
＜言語聴覚療法学科＞



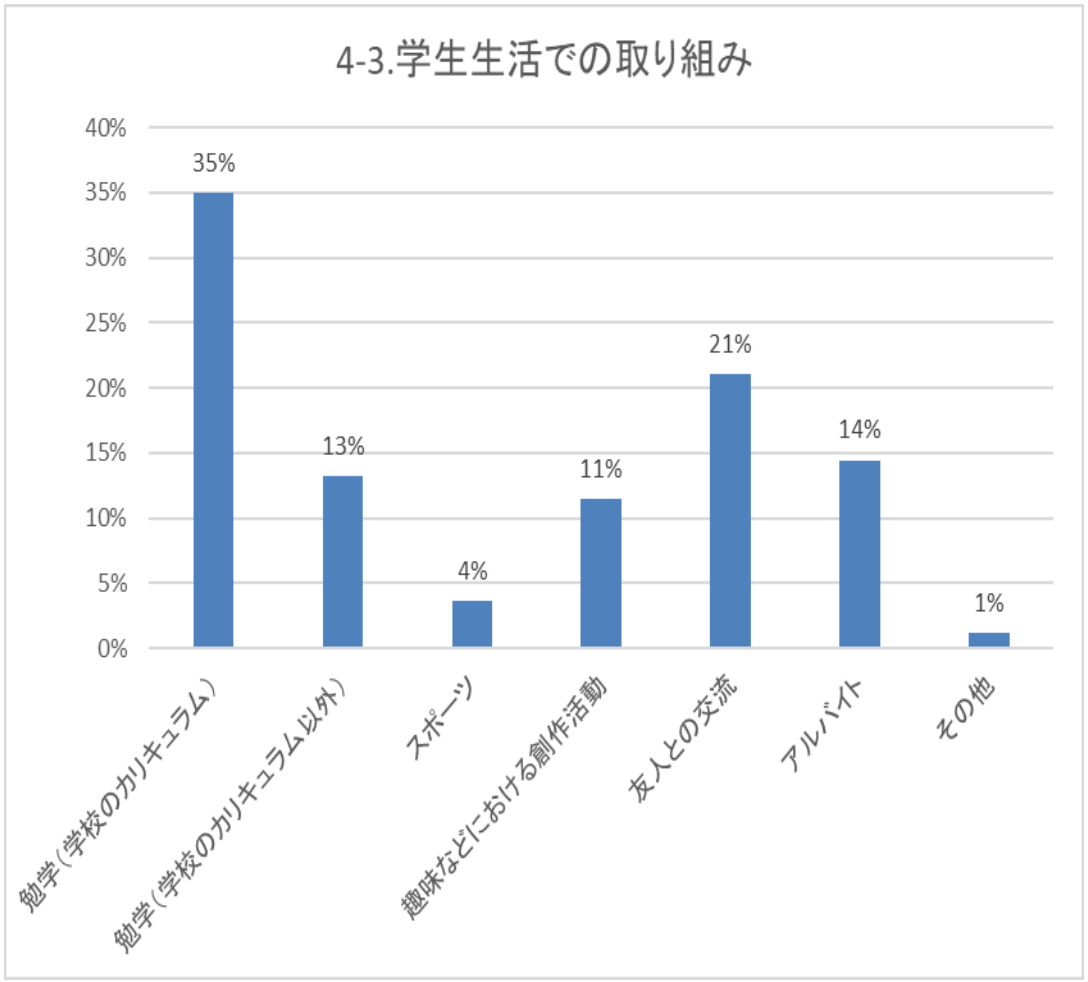
設問4-3　学生生活での取組

大学生活で特に力を入れて取り組みたいことはどのようなことですか。【複数回答】

＜理学療法学科＞



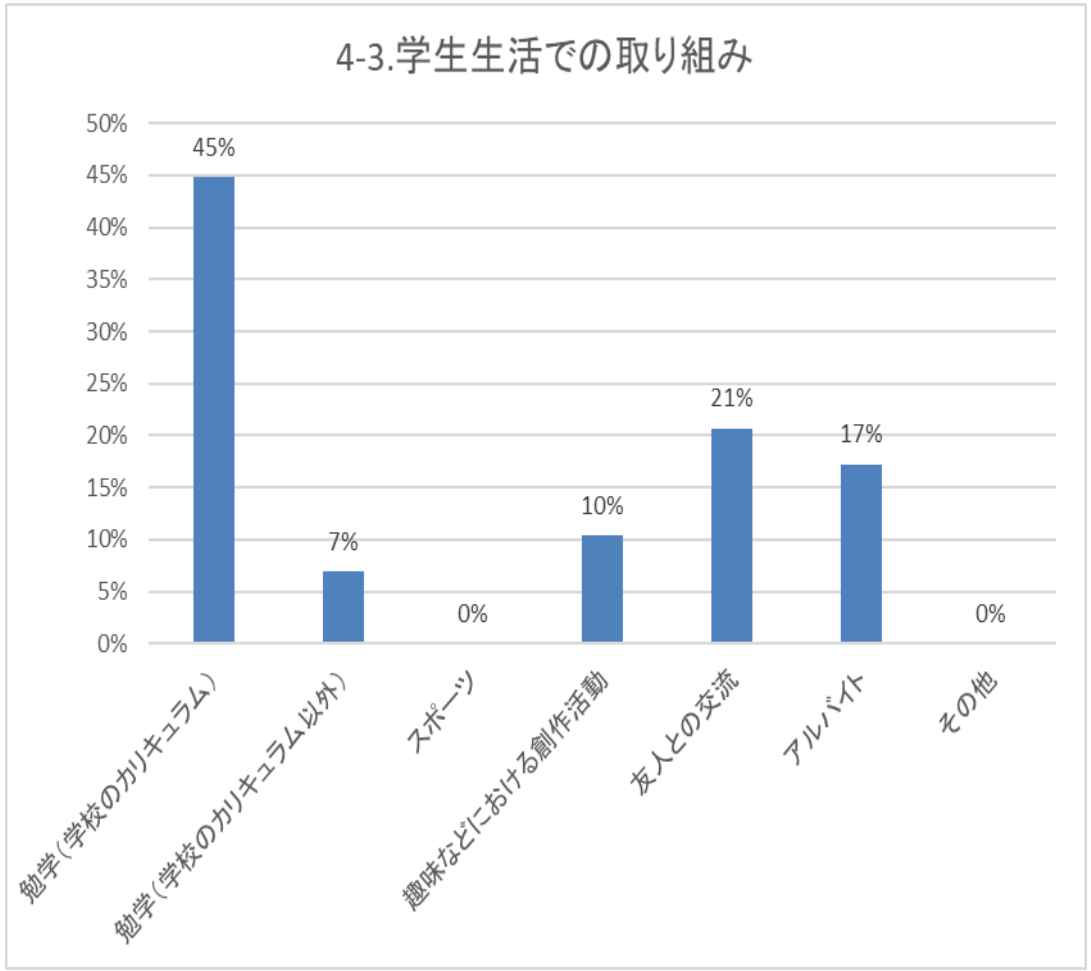
＜作業療法学科＞



設問4-3　学生生活での取組

大学生活で特に力を入れて取り組みたいことはどのようなことですか。【複数回答】

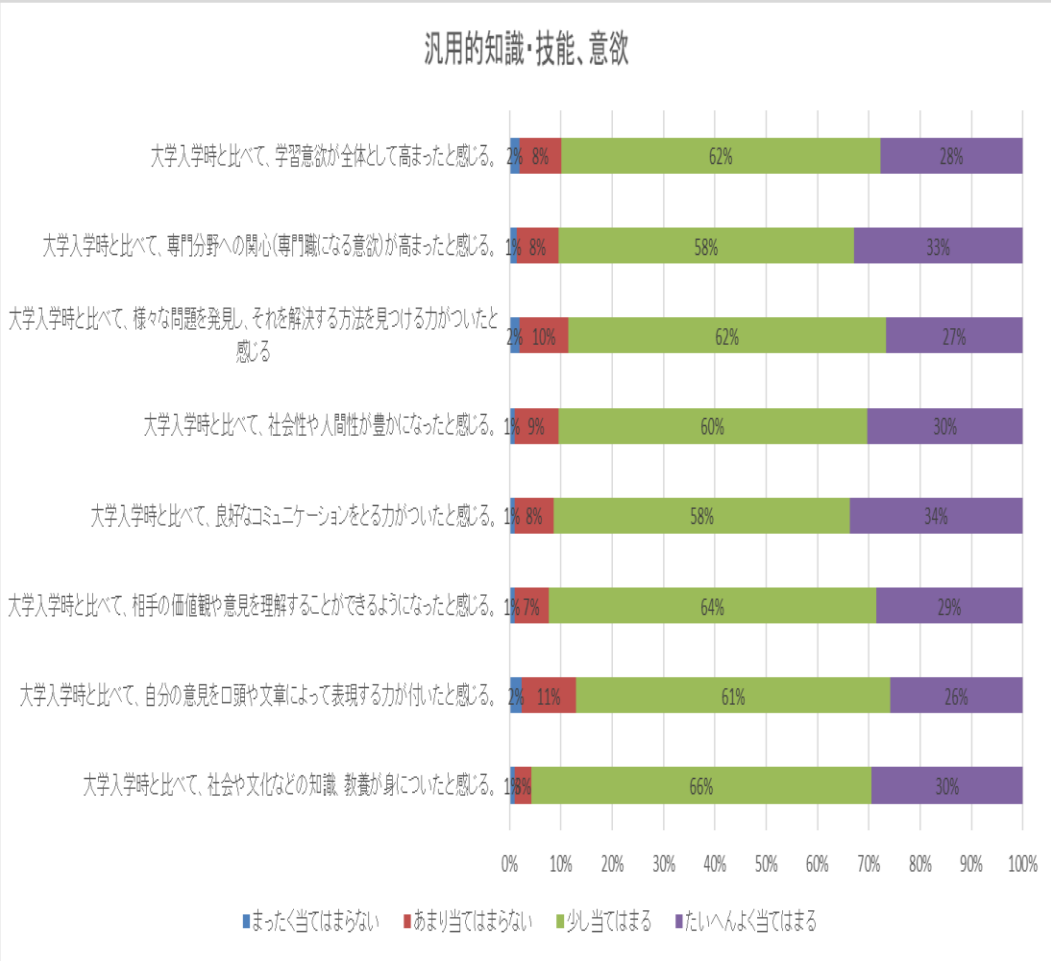
＜言語聴覚療法学科＞



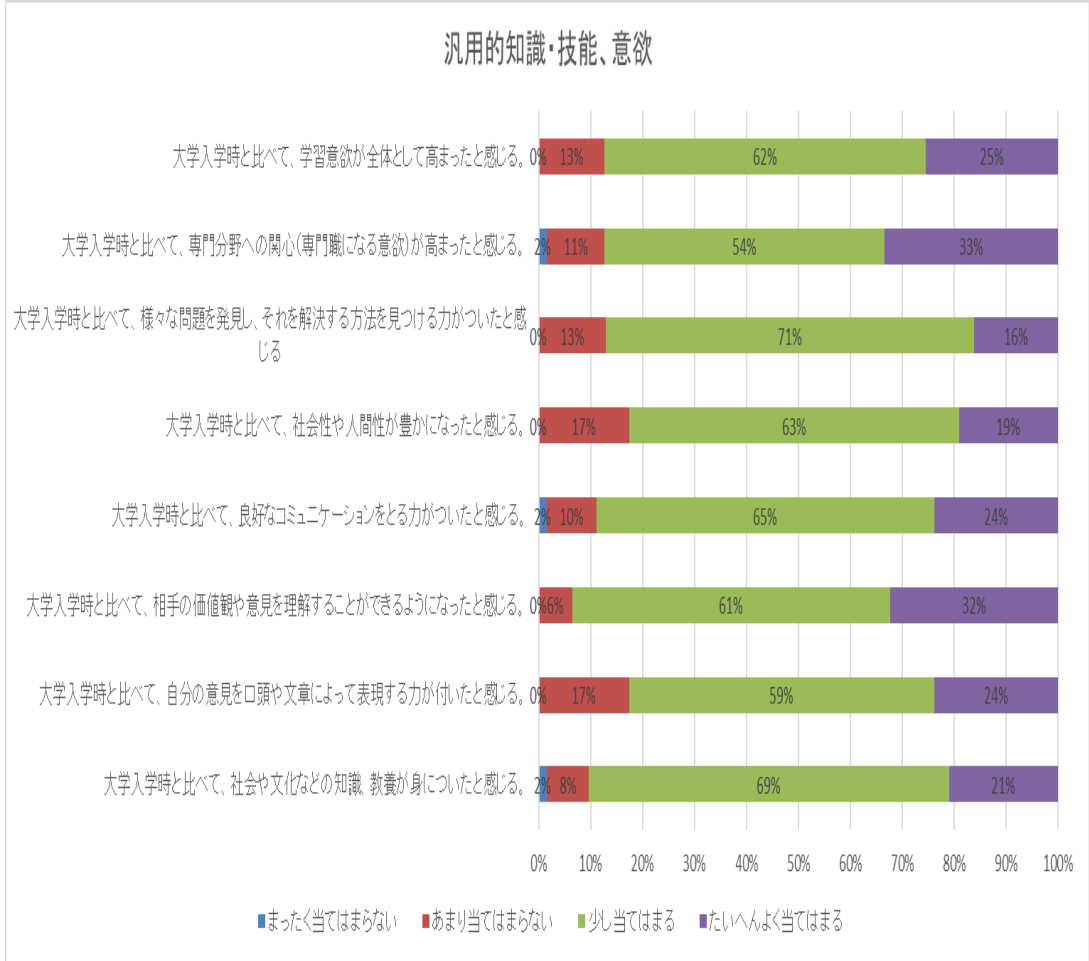
設問5　汎用的知識・技能・意欲

大学入学時と現在を比較しての質問です。いちばん近いものを、それぞれ一つ選んでください。
（※　2024年度までの調査では、２年生以上を対象としていたが、今回の調査から１年生も対象に含めている。）

＜理学療法学科＞



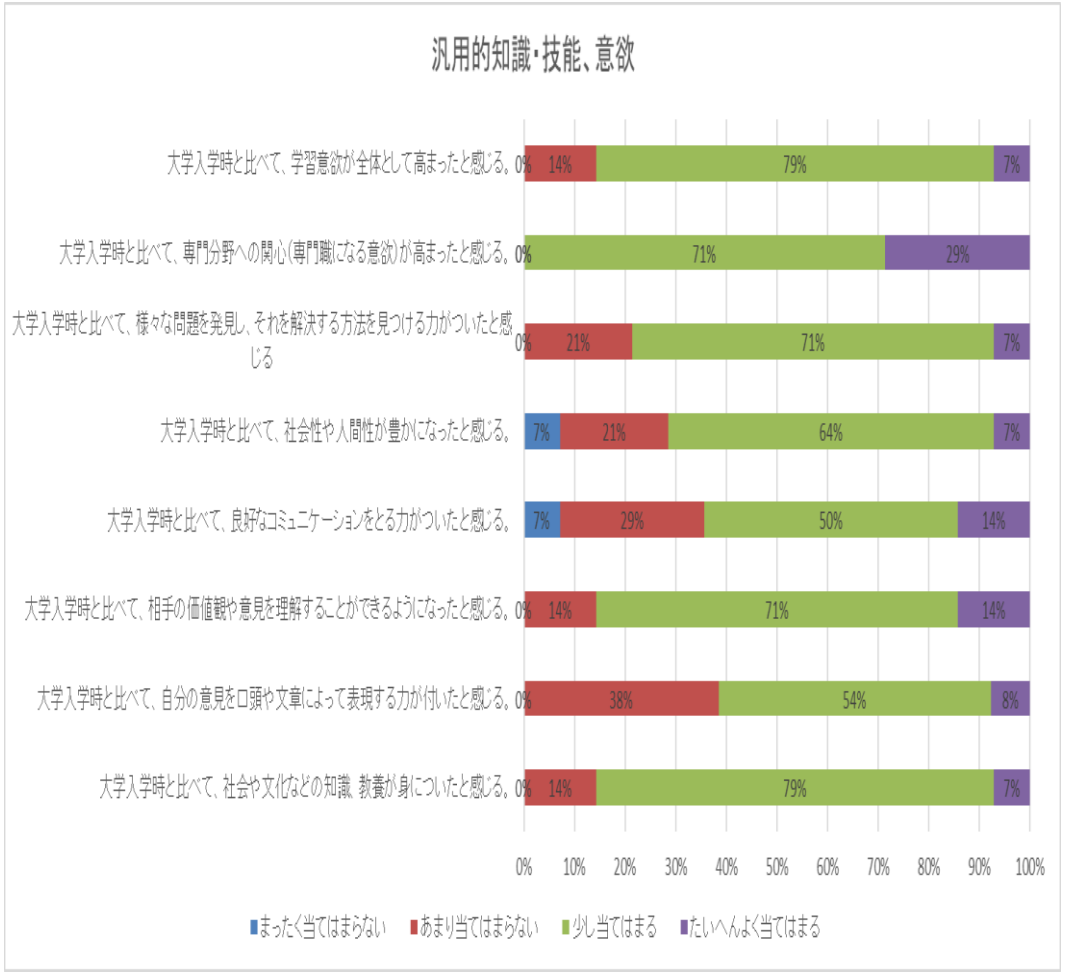
＜作業療法学科＞



設問5　汎用的知識・技能・意欲

大学入学時と現在を比較しての質問です。いちばん近いものを、それぞれ一つ選んでください。
（※　2024年度までの調査では、２年生以上を対象としていたが、今回の調査から１年生も対象に含めている。）

＜言語聴覚療法学科＞



設問6　その他

その他、本学の学修や学生生活について、ご意見あるいは不安なことがあればご記入ください。

【自由記述】

＜理学療法学科＞　　〇：肯定的意見　　●改善・要望事項　　□：学修への不安

〇学生生活に関すること　1件

●授業・学修に関すること　3件　　●施設設備に関すること　1件

●相談先に関すること　1件

□国家試験に関すること　1件　　□学修方法に関すること　2件

設問6　その他

その他、本学の学修や学生生活について、ご意見あるいは不安なことがあればご記入ください。

【自由記述】

＜作業療法学科＞　　●：改善・要望事項

●施設設備に関すること　1件　　●教材に関すること　1件

●授業・学修に関すること　2件

＜言語聴覚療法学科＞

（記載なし）

学科別集計結果の分析

理学療法学科

・「1-1.学修行動」、「1-2.通学時間」、「2.学修取組意識」、「3.学修行動・満足度」、「4-1.学生生活」、「4-3.学生生活での取組」の項目については、回答の割合は大差ない状況であり、昨年度とほぼ変化のない回答状況であった。

・強いて変化のあった項目を挙げるとすれば、「4-2.大学教育への期待」について、特に期待するものはないという回答が3%から0%へ変化していた。これは、全学生が何かを期待しているという裏返しの回答ではないかと思われた。

・「5.汎用性知識・技能・意欲」の質問項目において、全体的に「少し当てはまる」「たいへんよくあてはまる」の回答の割合が若干増加（微増；1～7%）し、「まったくあてはまらない」の回答が2～3%減少していた。それなりの成長を感じている証ではないかと思われた。

・自由記述に関しては、国家試験に関する内容、授業・時間割や学習方法に関する内容、大学側の対応に関する内容の3つにまとめられる。全学生の数からすると非常に少数の自由記述であるが、このような記述をしてくれる学生は前向きな学生ととらえてよいと思われ、そこに対する何かしらの対応が必要になるのではないかと思われた。

学科別集計結果の分析

作業療法学科

・2024年度および2025年度に実施した学生アンケート結果を学年別に比較した。2024年度から2025年度は、全体回答者数が69名から63名と6名減少している。2024年度に4年生だった2期生のクラス人数が多かったためその影響である。

・学習行動、通学時間において、全体の割合に著変はなかった。通学時間の平均は、2024年度53分、2025年度53.3分であった。

・「2.学修取組意識」では、「自分は、リハビリテーションの専門職に向いていると思う。」が少し当てはまるが-4名、たいへん当てはまるが-6名と減少傾向にある。

・「3.学修行動・満足度」では、「この大学に入学して満足している。」のたいへんよく当てはまるが-6名、まったく当てはまらないが+3名となっている。

・「4-1.学生生活」では、「朝起きるのがとてもつらい」にたいへんよく当てはまるが+13名であった。

・「4-2.大学教育への期待」では、コミュニケーション能力の向上の回答数が-10となっており、資格取得のため授業に関連する回答に偏ってきている。

・「4-3.学生生活での取り組み」、「5.汎用的知識・技能・意欲」に著名な変化はなかった。

学科別集計結果の分析

言語聴覚療法学科

・ST学科1年生については、2024年度と2025年度で入学時点の学修行動に大きな差異は認められず、学生像は概ね安定している。2025年度入学生では一部項目において自己主導性がやや控えめに見えるが、これは学修環境への適応過程として解釈可能であり、質的な低下を示すものではない。

・2025年度ST学科では、1年次から2年次への進行に伴い、学修目的の明確化や授業への主体的関与が高まっており、教育的成長が確認できる。一方で学修負担感や学修時間の個人差も拡大しているが、これは専門教育段階への移行に伴う自然な変化と考えられる。